

「桜通勤 2017 (5)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

私の自転車通勤路は、日本橋川の終点から起点まで、ほぼ沿った形で進んでいる。日本橋川は、水道橋駅付近で神田川から分流し、日本橋を通過して、隅田川を終点とする、短い川である。江戸時代に人工的に掘られた川が、現在も残っているのだ。



日本橋川は現在、ほぼ全流路が首都高速の下になってしまっている。日本橋ですら、首都高速の下にあり、実に貧弱な景観になっている。日本橋川の最も上流の水道橋駅付近でも、首都高速5号線(池袋線)が頭上を覆い、桜の木々も圧迫感に苦しんでいるようだ。それでも、今年も精いっぱい満開になっていた。



上図は、神田川から日本橋川が分流する付近の、航空写真である。(国土地理院提供) 日本橋川にとっては、図の上が上流ということになる。神田川から分かれた日本橋川は、いきなり2本の道路と、中央線の線路に跨がれ、その直後に、首都高速に覆われてしまう。まったく「日の当たらない」哀れな川である。そんな不遇な日本橋川にあって、私は、図の○の位置に、すばらしいシダレザクラを見つけた。



中央線の「日本橋川橋梁」の本当にすぐ脇にある、このシダレザクラは、まさに見事な満開だった。電車が通るたびに枝が大きく揺れて、たくさんの花びらを電気にまといせている。写真の電車は、中央線快速の下り電車(高尾方面行き)だ。この桜は電車の中からも見えるにちがいない。中央線下り快速電車に乗ったら、水道橋駅を通過した直後に、左車窓に注意してほしい。日本橋川一の見事な桜が見えるはずだ。